

取扱説明書

卓上型振動試験機 CV-101

目次

●安全上のご注意	2
●製品概要	4
●各部の名称	4
●ご使用方法	5
連続運転	
スイープ運転	
●お手入れについて	8
●アフターサービス	8
●お問い合わせ	8
●仕様	8

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■本製品を安全に、また、良好な状態でご使用いただくために必ず、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■製品を末永くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管ください。

▲アズワン株式会社

安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐ為、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

 危険	取扱いを誤ると、死亡または重症を負う可能性があります。
 警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触れると傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示

※本製品は内部回路に高周波電流を利用していますので、ペースメーカーをご使用の方などが本製品近傍で作業される場合、万一来に備えご注意ください。

<設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	
	・近くに引火性の固体・液体・気体のないところでご使用下さい。
	・周囲温度が5～35℃以内のところでご使用下さい。
 警告	
	下記の条件を満たすところでご使用下さい。製品の劣化、故障の原因になります。
	・水平で安定したところ。
	・湿気の少ないところ。
	・直射日光のあたらないところ。

※本製品を屋外で使用することは避けてください。

<使用上の安全に関する注意>

 警告	
	・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。
	・扉の開閉はゆっくり行ってください。乱暴に扱おうと破損してケガをする恐れがあります。
 警告	
	・本体に強い衝撃を与えたり無理な力を加えると、割れやクラックが生じる恐れがありますから、これらの部分は丁寧に扱ってください。
	・電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。ショートや感電の恐れがあります。
	・本製品は、強酸類（クローム酸等）・有機溶剤（アセトン、キシレン、クロロホルム、アルコール、酢酸等）全般に侵されますから、これらの薬品を使用しないでください。
	・使用中及び使用直後は、ヒーター、断熱板、金網及び乾燥に使用した容器は高温になっていますから、火傷にご注意下さい。容器を取出す場合は、保護手袋などを着用してください。
	・AC100V以外では使用しないでください。
	・長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを引っ張って抜かないで下さい。

製品概要

4

この装置は、手軽に振動試験を行うことが出来るように、加振テーブルを希望の周波数及び、加速度で振動させ、簡易に振動試験が出来る様に作られています。

XYZ三方向の振動試験を実施する場合は別売のアタッチメントのご使用をお奨めします。

この製品は以下のような特長を有します。

- 振動周波数を10Hz～300Hzの範囲で1Hz刻みで設定できます。
- 振動加速度は0.1G～2.0Gの範囲で0.1G刻みで設定できます。
- 1分～9時間59分を1分刻みでタイマー設定できます（連続運転時）。
- 周波数スイープ運転が可能で10Hz～300Hzの間で周波数スイープを設定できます。（最低周波数から最高周波数まで往復変化する時間は1分～99分の範囲で設定できます）

動作概要

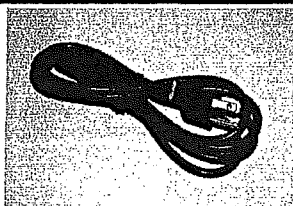
動作モードは、定周波数モードと、スイープモードが、あります。

- ・定周波数モードは、一定の周波数で試験を行うモードで、スタートすると、設定時間振動を加え自動停止します。
- ・スイープモードは、設定された最低周波数から最高周波数までを設定された時間で往復します。最高周波数になると次は、最低周波数に向かって下降します。上昇、下降の1サイクル時間を設定します。

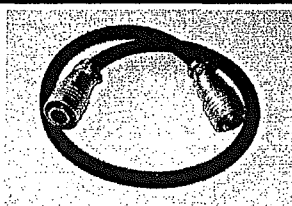
この動作を繰り返す時間を、時間設定により決めます。

時間設定を、10分、スイープ時間を1分としてスタートすると、10サイクルのスイープ振動を行い、終了（停止）します。

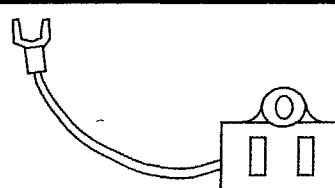
付属品



●AC100V入力コード*

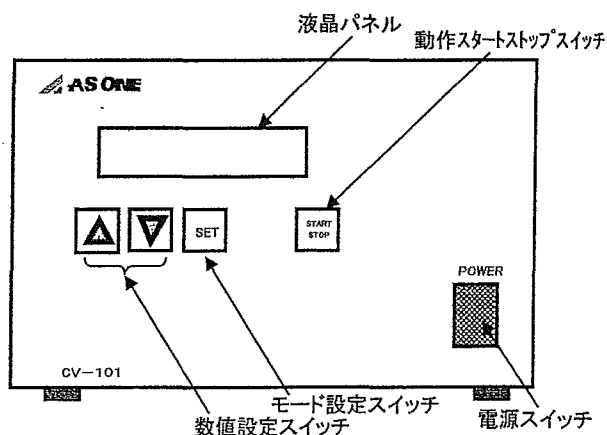


●コントロールBOX-アクチエータ結線コード*

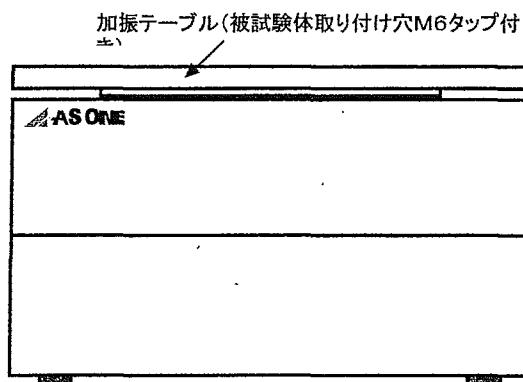


●AC100V 2P/3P変換プラグ*

各部の名称



コントロールBOX



アクチエータBOX

ご使用方法

5

1. 付属のAC入力コードをAC電源ソケットに奥までご挿入ください。
 2. コントロールBOXとアクチュエータBOXを付属のケーブルで結線して下さい。
 3. 電源スイッチがOFFであることを確認し、電源プラグを三芯接地付きコンセントに差し込んで下さい。
- 注) 電源を入れると、前回使用したモードの待機表示になります。

定周波数モードの待機表示

Power	off	M1
50Hz		1 H00M

スweepモードの待機表示

Power	off	M2	1M
10-100Hz			1 H00M

待機表示は、定周波数モードと、スweepモードがあり、モード変更は、待機表示からSETスイッチを押すと、モード設定表示になります。

SETスイッチを押すと、

モードセッテイ
1、ティッシュハスウモード

または、

モードセッテイ
2、スweepモード

これをスweepモードに変更する時は、
△ スwitchを押すとスweepモード
(左上の表示)になります。

これをスweepモードに変更する時は、
▽ スwitchを押すとスweepモード
(右上の表示)になります。

* 定周波数モードの操作と動作

定周波数モードの待機表示

Power	off	M1
50Hz	1. 9G	1 H00M

SETスイッチを押すと、

モードセッテイ
1、ティッシュハスウモード

SETスイッチを押すと、

シュウハスウセッテイ
50Hz

△ ▽ のスswitchで周波数を設定する。

△ のスswitchで、周波数数値が上昇します。
一度押すと+1されます。又一秒以上押し続けると自動的に上昇し、1桁目が9を超えると2桁目が加算しますので、設定が早く出来ます。

▽ のスswitchで、周波数数値が下降します。
一度押すと-1されます。又一秒以上押し続けると同様に自動的に減算します。

SETスイッチを押すと、

カソクドセッテイ
1. 9G

△ ▽ のスswitchで加速度を設定します。

△ ▽ の動作は上記に同じです。

SETスイッチを押すと、

ジカンセッテイ
1 H00M

△ ▽ のスswitchで時間単位を設定します。

SETスイッチを押すと、

ジカンセッテイ	1 H00M
---------	--------

△ ▽ のスイッチで分単位を設定します。

SETスイッチを押すと、

Power off M1	50Hz	1H00M
--------------	------	-------

定周波数モードの待機表示になり、
スタートスイッチを押すと運転を開始します。

運転中表示

RUN	1. 8G	0H01M
50Hz	1. 9G	1H00M

←上段中央(1. 8G)はリアルタイムの加速度を表示します。

←下段中央(1. 9G)は設定加速度を表示します。

設定時間後には自動的に停止し、待機表示になります。

運転中にスタート/ストップスイッチを押すと、停止し、待機表示になります。

この時、経過時間はリセットされます。

次のスタートで 0 から積算します。

* スイープモードの操作と動作

スイープモードの待機表示

Power off M2	1M
10-100Hz	1 H00M

SETスイッチを押すと、

モードセッテイ	2、スイープモード
---------	-----------

SETスイッチを押すと、

サイテイシュウハスウセッテイ	10Hz
----------------	------

△ ▽ のスイッチで最低周波数を設定します。

SETスイッチを押すと、

サイコウシュウハスウセッテイ	100Hz
----------------	-------

△ ▽ のスイッチで最高周波数を設定します。

SETスイッチを押すと、

スイープジカンセッテイ	1M
-------------	----

△ ▽ のスイッチでスイープ時間を設定します。

・この時間は、設定された最低周波数から最高周波数になるまでの時間です。

最高周波数になると、最低周波数に向かって同じ時間で下降します。

SETスイッチを押すと、

カソクドセッテイ	1. 9G
----------	-------

△ ▽ のスイッチで加速度を設定します。

SETスイッチを押すと、

ジカンセッテイ	1 H00M
---------	--------

△ ▽ のスイッチで時間単位を設定します。

SETスイッチを押すと、

ジカンセッテイ	1 H00M
---------	--------

△ ▽ のスイッチで分単位を設定します。

この時間は、試験時間を設定します。

最大9時間59分まで設定することが出来ます。

SETスイッチを押すと、

Power	off	M2	1M
10-100Hz		1 H00M	

スリープモードの待機表示になり、

スタートスイッチを押すと運転を開始します。

スタートスイッチを押すと、

22Hz	1. 9G	0H08M
10-100Hz		1H00M

上段左端(22Hz)はリアルタイムの周波数を表示します。

←上段中央(1. 8G)はリアルタイムの加速度を表示します。

上段右端(00H8M)は経過時間を表示します。

スリープモードの運転中表示になり、設定時間後に自動停止します。

10Hz は、現在振動周波数を逐次表示します。

運転中にスタート/ストップスイッチを押すと、停止し、待機表示になります。

この時、経過時間はリセットされます。

次のスタートで 0 から積算します。

お手入れについて

- ・本体カバーをシンナー、ベンジン等では拭かないで下さい。本体の汚れはぬるま湯か中性洗剤を含んだ良く絞ったやわらかい布できれいに拭き取ってください。
- ・特に液晶表示部分は溶剤系の洗浄液に侵される場合がありますのでご注意下さい。

アフターサービスについて

本製品は厳密な検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による自然故障の節は弊社保証規定により修理いたします、取扱店にご用命下さい。



■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル 0120-700-875
FAX 0120-700-763

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません

仕様

製品名	卓上型振動試験機（JIS準拠）
型番	CV-101
表示機能	16桁2行のLCD表示器
振動周波数	10～300Hz
振幅	0.2～3.0mm（加速度：Gが0.1～2.0の範囲で設定出来る様に振動周波数と連動）
動作モード	・マニュアルモード：振動周波数、振幅固定 ・スweepモード：周波数自動掃引（JIS準拠）
被測定物最大荷重	1Kg
安全装置	電流ヒューズ（AC125V、5A）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	200W
動作周囲温度	0～40℃
動作周囲湿度	90%RH以下（結露なき事）
形状	コントロールボックス：152×227×143mm アクチエータ：220×150×137mm
重量	コントロールボックス：1.6Kg アクチエータ：1.2Kg